草加市公共施設等総合管理計画 第２回市民ワークショップ 2016/10/28 谷塚文化センター

１班　※ふせんに書かれたグループ討議での意見をそのまま載せています。

	やりたいこと	問題になりそうなこと	地域でできること
音楽教室	●自分たちでなかなか購入できないので楽器の演奏（B） ●子ども、高齢者が一緒に歌えるカラオケ（B）	【子供のための学校を第一に】 ●利用者を増やしていくにはどうしたらいいか？高齢者などにも利用してほしい ●ルール作り ●管理者の問題 ●土日管理が地域でやれない ●管理区分を明確にする必要がある ●管理の件（施設、安全、時間等） ●入れるところと、入れないところを実際仕切れるか？ ●普通教室には入れないように鍵をつける 【不審者、犯罪者への対策は？】 ●犯罪をしようとする人は工夫しても防ぎきれないのでは？ ●トイレの使用は ●不特定多数の人々が集まると言う危険性 ●不審者が入り込まないか心配 ●どうやって見守り、パトロールするか？ ●学校内に人が残っていない確認することができるか 【管理の責任は？】 ●地域が利用する時の管理、	【子ども中心のルールづくり】 ●子どもを主体としたルールづくりをする ●学校開放…と用途別の組織ではなく、全体を統括できる組織が必要 【管理する専従者をつける】 ●管理する専従者を設ける ●地域で専従してくれる人がいれば良いが、なければ雇用等しても置くべき 【利用できる対象を決める】 ●誰が利用しているのかがわかるように ●既存の予約システムとは別に地域が優先的に使えるように ●利用できる対象を個人単位ではなく団体にする 【総合的な組織づくり】 ●利用している人も好き勝手ではなく責任を持って使う ●協議会のような組織が責任を持って管理できるように ●土日夜間の管理主体は「学校協働本部」とする 【運営できるように受益者負担】 ●そのためには利用料などの徴収は必要だろう
家庭科室	●家庭科室で子ども食堂を行う		
図書室	●高齢者の方が子どもたちに地域の歴史を伝える ●身近な地域の人が語りなどで伝える機会 ●地元を知ることができる機会を作る→地元を考える、愛着を持つ ●昔のことをよく知っている人に活躍 ●読書（図書室） ●小中学校で市民が使える図書室 ●草加の歴史（C） ●地域の歴史（A）		
和室・余裕教室	●高齢者サロン、音楽やカラオケで子どもも！（B） ●子育てサロンと高齢者サロンの一体的運営（B・C） ●誰でもが気軽に集まれる場所 ●特に目的も定めなく、老若男女が集える場所・時間、空き教室（和室） ●目的をあえて定めず雑談できる→目的を定めると人が集まらない ●和室？掘りごたつ？作り込まない方が良い ●子育ての相談コーナー→１人で悩まないように		
学校全体	●地域が優先的に使用できるスペースを確保する		

	やりたいこと	問題になりそうなこと	地域でできること
	●地域と学校をつなぐ活動の中心組織として地域学校協働本部を設置する→学校の子どもたち、学校経営判断、避難所運営	責任者は誰になる？ ●個人情報対策 【使用ルールと利用しやすさのバランス】 ●使える時間帯 ●使える時間を限定すると来られる人が限られてしまう ●学校は子どもと一緒に活動するのを前提にすべき ●清掃などは誰がやるのか？ ●駐車場の確保が現状の学校では難しい ●使い方のマナーを押し付けたりしないか？大人の論理を押し付けまいか？ ●市民（大人）のわがままが出る！ ●教育への影響 ●勉強の邪魔にならないか	●税金で賄うのではなく、受益者負担はしないと
校庭	●歴史を知るために歩いて学校周辺へ出かける ●校庭で地域・市「NO1 スポーツ」育成、卓球、スポーツ吹矢 ●No.1 スポーツ．．．市民が1番になれるようなスポーツ ●校庭「歩く力」向上（A） ●周辺に散歩できる道がないので ●体力作りの場所、校庭、体育館 ●運動不足を解消できるようにラジオ体操でもいいかな？！1年間通してできるように夏期だけでなく ●目安をつけてそれを達成して体力作りの励みに ●映画、DVD 映写 ●青空映写会など大画面で…地域のみんなで観られると良い ●地域主体の避難所運営訓練を実施する ●校庭を使い、一町会だけでなく他町会との親睦（運動会、地震の訓練等） ●校庭はもっと有効活用できる→大規模な訓練も可能に		

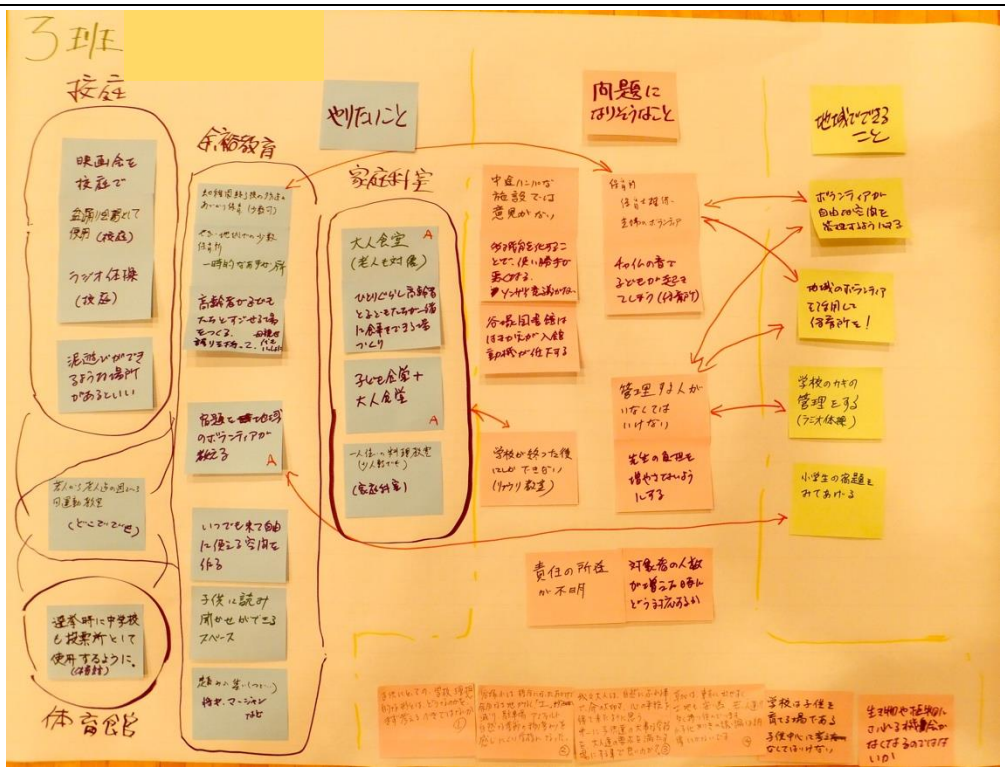
草加市公共施設等総合管理計画 第２回市民ワークショップ 2016/10/28 谷塚文化センター

２班　※ふせんに書かれたグループ討議での意見をそのまま載せています。

	やりたいこと	問題になりそうなこと	地域でできること
図書室	●子ども（小さな子ども＝就学前）たちも楽しめる図書室があると良い ●図書を充実、司書を置くなどして充実した読書環境づくり ●親子で来て読み聞かせ等して楽しむことができる図書館（A）	●施設のようなものを設けると人員が必要となる ●時間的な制約、例えば使いたい時間が昼に集中（学校側と市民） ●学校は教育の場なので、まずは子供達の教育を充実させるべき ●ケガ等の危険性、無法地帯になる可能性がある ●調理室を学校以外の人が共有するのは、衛生上問題がある ●不特定多数の人が出入りすることによる、子供たちの防犯上、安全性の問題 ●現場の意見（先生・生徒）を聞かずに学校の活用を考えるべきではない ●学校に集約化するのではなく、使用料を上げるなど財源を確保し今ある施設を維持すべき	●土日のスポーツ交流、大会等イベント管理（町会合同で実施） ●子供たちの見守りをする ●見守り、スポーツ指導等 ●地域の人材活用 ●子どもに様々なことを教える ●施設を使う際は利用者が一定の負担（使用料）をするべき（ふれあいの里など）
教室	●趣味を生かして子供達への情緒の向上と触れ合い（例・茶道、華道等） ●昔話等、体験を生かした道徳的な推進に生きた言葉での交流の場を作る ●土日でも子ども達に校庭、体育館を開放する ●土日など教育活動のないときに体育館、運動場を市民開放できる ●平成塾の数を増やして、高齢者の活動の場を増やせたらいい ●高齢者の集いの場として活用する ●高齢者の趣味活動（茶道、華道、将棋など）を子供たちと共有する ●介護施設（デイ）、高齢者施設の設置 ●高齢者と子供たちが一緒に給食を食べる（交流）（A） ●保育園、幼稚園を設置する（A）		
校庭	●公園が少ないので校庭で公園のように過ごせたらいい ●公園ではボール遊びを禁止している所が多いので、校庭で遊べたら良い		
プール	●温水プールが身近にあったら良い		
その他	●子供がいることを前提とした活用が重要！ ●建物は高層化してでもいろいろなプール、図書館、調理室など別に作ること		

草加市公共施設等総合管理計画 第２回市民ワークショップ 2016/10/28 谷塚文化センター

３班　※ふせんに書かれたグループ討議での意見をそのまま載せています。



	やりたいこと	問題になりそうなこと	地域でできること
校庭	●映画会を校庭で ●盆踊り会場として使用 ●ラジオ体操 ●泥遊びできるような場所があるといい	●中途半端な施設では意味がない ●多機能化することで使い勝手が悪くなる、存在意義がない ●谷塚図書館は履き替えで入館動機が低下する ●保育所、保育士確保、主婦のボランティア ●チャイムの音で子どもが起きてしまう（保育所） ●学校が終わった後にしかできない（料理教室） ●管理する人がいなくてはいけない ●先生の負担を増やさないようにする ●責任の所在が不明 ●対象者の人数が増えた時にどう対応するか ●子供にとっての学校、理想的な形とはどうなのかをまず考えるべきではないか ●谷塚小は複合になったお陰で余分な土地がなく「土」が減り、駐車場、アスファルト、自然な季節の移り変わりを感じにくい学校になった ●我々大人は自然にふれる事で命の大切さ、心の平穏を得て来たように思う、第一に子供達の大事な学校を大人達の要求を満たす場にする事で良いのか？ ●草加は東京に出やすく、土地も安い為若い人達が多く移り住んでいます。少子化ありきの議論は納得いかないです ●学校は子供を育てる場である、子供中心に考えなくてはいけない ●生き物や植物にふれる機会がなくなるのではないか	●ボランティアが自由な空間を管理するようにする ●地域のボランティアを活用して保育所を！ ●学校のカギの管理をする（ラジオ体操） ●小学生の宿題をみてあげる
体育館	●選挙時に中学校も投票所として使用するように		
余裕教室	●幼稚園終了後の夕方迄の預かり保育（少数可） ●せまい地域での少数保育所 ●一時的な預り所 ●高齢者が子どもたちと過ごせる場を作る。誇りを持って。母親世代も一緒に ●宿題を地域のボランティアが教える（A） ●いつでも来て自由に使える空間を作る ●子供に読み聞かせができるスペース ●趣味の集い、将棋、マージャンなど		
家庭科室	●大人食堂（老人も対象）（A） ●一人暮らし高齢者と子どもたちが一緒に食事をできる場づくり ●子ども食堂＋大人食堂（A） ●一人住まいの料理教室（少人数でも）		
どこででも	●若人から老人迄の週2～3回運動教室		